

ハイブリット開催

演題登録

2023年1月25日(水)～5月31日(水)
正午まで

交流集会募集

2023年1月25日(水)～3月31日(金)

申し込みはこちらから

<https://klar.co.jp/eolcconf2023/>



学術集会長 内田 陽子
(群馬大学大学院保健学研究科)

この度、日本エンドオブライフケア学会第6回学術集會を群馬・前橋で開催することになりました。本学会集會のメインテーマを、「ありがとうといえるエンドオブライフケア～すべて統合したポジティブケア～」としました。「ありがとう」という言葉はエンドオブライフケアの成果を表すものです。ケアの過程には、涙や苦悩・苦痛があり、その中でもひと時の笑顔や感動が溢れています。そして、それらすべてを統合し、人生哲学・感情をもって文化を創りながらポジティブに生き、ポジティブに最期を迎える相互のケアについて、また、科学としてのエビデンス(根拠)の蓄積を含めたケアを一緒に考えてみませんか。充実したプログラムを準備して、皆様のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願ひ致します。

学術集會副会長 高井 ゆかり
(群馬県立県民健康科学大学)

事務局長 伊東 美緒
(群馬大学大学院保健学研究科)

ありがとうといえるエンドオブライフケア
すべて統合したポジティブケア

日本エンドオブライフケア学会 第6回学術集會

2023

9/16_土17_日

会場

昌賢学園まえばしホール
(前橋市民文化会館)

一般社団法人日本エンドオブライフケア学会 <http://endoflifecare.jp>

[運営事務局]株式会社klar(クラール)

〒371-0013 群馬県前橋市西片貝町4-23-4 TEL.027-260-9525 FAX.027-260-9322

大会専用E-mail: eolcconf2023@klar.co.jp 大会専用ホームページ <https://klar.co.jp/eolcconf2023/>

プログラム見どころ (2023年1月現在)

大会長講演

「ありがとうといえるエンドオブライフケア —すべて統合したポジティブケア—

内田陽子

特別講演

「認知症ポジティブ」

山口晴保

教育講演

「最後まで安心して過ごしていただくためのケア技法 — ユマニチュード —」 本田美和子

シンポジウム2

人生の終焉を迎える人にどうかかわるか
岩城典子・杉浦真・石井美希

シンポジウム1

認知症になっても最後まで地域で暮らす
『ポジティブ・エンドオブライフケア』
田中志子・大澤誠・佐藤文美

リレー講演1

「非がんとかんの緩和ケア」 平原佐斗司・竹田果南

リレー講演2

「ALSへの告知・エンドオブライフケア」
荻野美恵子・牛久保美津子

指定講演

「いのちの流れの一滴として — エンドオブライフケアの人生観」
「腎不全患者のエンドオブライフケア」
「がんの最新治療と予後」
「精神医療における臨床倫理・エンドオブライフケア」

浅見洋
岡美智代
佐谷秀行
井藤佳恵

実演企画(現地開催のみ)

「スキン・エンドオブライフケア」
「口腔・エンドオブライフケア」
「リラクゼーション法の体験」
「認知症の人の痛みのアセスメント」

岡部美穂
久保田チエコ
柳奈津子
高井ゆかり

市民公開講座1(シンポジウム)

「文学・歌から紐解くエンドオブライフケア」
荻原朔美・足立智孝

市民講座2

「歴史を紐解く死生観
— 平安文化の雅な世界から —」

ランチョンセミナー1

「認知症の人のACPのプロセス」 伊東美緒

ランチョンセミナー2

「包括的BPSDケアシステム®を
活用したエンドオブライフケア」 内田陽子・田島玲子

専門家相談企画(現地開催のみ)

「病院におけるエンドオブライフケア」
「地域におけるエンドオブライフケア」 各専門看護師

専門家相談(現地開催のみ)

「エンディングノートってどう書けばよいですか？」
前橋市医師会 おうちで療養相談センター

日本循環器看護学会合同企画

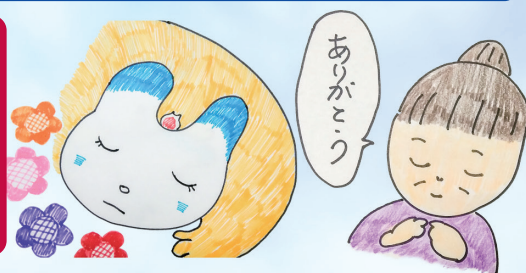
「心不全の治療のプロセスとエンドオブライフケア」

田中旬・堀川由加里

交流集会・意見交換の場

「ACPファシリテートについて語ろう」
「エンドオブライフに関する研究を行う上での
倫理的課題について考えてみましょう！」 学会委員会企画
交流集会・演題発表(口演・ポスター発表)

募集中



現地に足を運びたい・遠隔でも参加できるプログラムをご用意しました。皆様のご来場及びWEB参加をお待ちしています。